

北海道の死亡野鳥から 高病原性鳥インフルエンザウイルスを検出！！

北海道苫小牧市で死亡したオオタカから、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）が検出されました。

今シーズン、**国内初となる高病原性鳥インフルエンザ確認事例**となります。

改めて野生動物侵入防止や消毒などの発生予防対策を徹底するとともに、毎日の健康観察で異状を認めた場合は、直ちに通報してください。

<経緯>

10月15日（水）

- ・北海道苫小牧市でオオタカ（死亡個体）1羽を回収
- ・同日、簡易検査でA型鳥インフルエンザウイルス陰性

10月17日（金）

- ・遺伝子検査で高病原性鳥インフルエンザ（H5亜型）と確定

<対応>

- ・野鳥サーベイランスにおける全国の対応レベルを10月17日付けで「対応レベル2」に引き上げ、監視強化



野鳥1例目
北海道苫小牧市
オオタカ(死亡個体)

◆現在の国内野鳥のHPAI発生状況は環境省HP(https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)を参照

【発生予防対策のポイント】

野鳥等の野生動物の
家きん舎への侵入防止
(防鳥ネットなど)



小型の野生動物の侵入防止



野生動物対策

農場に入る車両の徹底した消毒



家きん舎内に入る
人・物の徹底した消毒



人・物・車両対策

- ・衛生管理区域内に入る車両の消毒！
- ・野生動物侵入防止対策の徹底！
- ・鶏舎出入口や周辺の消毒徹底！
- ・対策の点検・補修・改善！
- ・毎日の健康観察！
- ・早期発見、早期通報！

京都府中丹家畜保健衛生所

福知山市字半田371-2

☎：0773-25-1860

*休日・夜間は転送されます